

臨地実習（基礎看護学）

[実習] 後期 必修 90時間 2単位

《担当者名》○平 典子 [hira@hoku-iryo-u.ac.jp]
明野 伸次 [akeno@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

基礎看護学特論、基礎看護学演習、基礎看護学演習の諸知識に基づいて実習課題を明確にし、看護学課題研究に関連した実習施設・場を選択する。実習では、課題を達成する場への参加を通して自らの学習課題を考察する。

【学修目標】

1. 関連する授業および実務経験にもとづいて、実習課題を説明できる。
2. 実習目的・実習目標を明確にし、実習計画を立案する。
3. 実習計画にもとづく実践を通して、自らの課題の展望を表現する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	1. 実習課題	1) 関連する授業、自らの実務経験にもとづいて実習課題を明確にする。 2) 例えば、対象者の理解、援助方法の検討、看護実践に影響する組織・制度に関する内容など。	平 明野
	2. 実習方法	1) 学生は実習課題を明確にした上で実習計画書を作成する。 2) 実習計画書をもとに実習施設側の指導者と打ち合わせを行い、実習目標および倫理的配慮に関する確認を行う。 3) 終了後は、指導教員とともに実践の振り返りを行い、課題レポートを作成する。	平 明野
	3. 実習場所	1) 学生の実習課題、実習計画にもとづいて実習施設を決定する。 2) 実習施設は、医療施設、地域社会の施設（保健施設、訪問看護施設）、看護系教育機関（看護専門学校、看護系大学）など。	平 明野
	4. 実習期間	実習期間はおおむね2週間。 実習課題や学習状況により、集中実習か分散実習かを相談・決定する。	平 明野

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

実習評価表(40%)、課題レポート(60%)を総合評価する。

【教科書】

特に指定しない。参考文献は随時、提示する。

【学修の準備】

自らの実習課題を明確にした上で、実習計画を立てて臨地実習に臨む。
事前に既習の知識の整理をしておくこと、実習の振り返りから見いだした疑問・課題をまとめておくこと。